

ハッピー 友訪

友訪を支える会

代表 岩崎 正

No. 4

2015年7月

〒202-0005 東京都西東京市住吉町 6-11-16

tel&fax 042(438)0091

ホームページアドレス <http://yuuhou.org>

新理事挨拶

今期より理事を拝命いたしました小川と申します。実は 45 歳で他界しましたが、私の弟も利用者の皆様と同じ境遇でした。私も、亡き父も、長年、西東京市の家族会におりました。多くの方に助けていただいて、市内の作業所設立にも関わらせて頂きました。

ですから、皆様とお会いすると、何か身内といいますか、肌のぬくもりを感じてしまうのです。

友訪も設立から 18 年、NPO になってから早 9 年となります。この間、山あり、谷あり、でしたが、多くの皆様に支えられて、今やグループホームも運営する素晴らしい、中身のある法人に発展いたしました。

昨年、第三者評価を受診しましたが、その結果を見ると、利用者の皆様が本当に安心して頼れる存在になっていることがよく分かりました。

「仕事内容や朝起きのフォローをしてくれる」「初めての一人暮らしに対するアドバイス等のケアをしてもらっている」「失敗したときはフォローしてもらっている」「メンバー同士の交流や関わりが楽しい」「友訪で人としゃべるのが私にとって大切だし、先輩も親切にしてくれる」「建物は古いがほっとする」などの声があがっています。

それは、「誰もが自分の価値を認められる場所」という基本理念、「みんなで快適な時と場所を作る仲間」という運営方針が、職員、メンバー全員に強く意識されているからに他ありません。そして、利用者は皆一人の社会人であり、利用者の意思を尊重し、過剰な支援を行わず、問題解決やルール、イベントづくりは職員と全利用者で決めていく、という運営方法が、日々、丁寧にやられているからでしょう。

この西東京市内にも同じ境遇で悩んでいる人や家族は数多くいます。このような、1人ひとりを大切にしたい支援サービスが大きな輪になって、もっと多くの当人や家族に手を差し伸べることができるようになれば、と思います。そのお手伝いが少しでもできればと思っています。

小川貞泰

友訪を支えて頂ける方を募集しております

お問い合わせ先

友訪を支える会 事務局 042-438-0091 担当 橋本・清水

メンバーさんが友訪の詩を書いてくれました

『初日』 雪華 繚乱

ある日一枚のとびらを開いた。期待と不安を胸に抱いて
そのとびらをあけたら談笑する声があふれかえってた。
でもその感覚に慣れてないから少しとまどいを感じていた。
みんながほら「おはよう」って声をかけてくれるから自然と笑顔があふれてた。
それが仕事につながる Power、みんなの声が元気にさせてくれる。
でもはじめての仕事は緊張する、でも最初からできる人なんて誰もいない。
そんなに器用じゃないからいくつも仕事をこなせない、だったら一つの事を極めてみようかな？
我々は個であって個にあらず、進む道はちがうけど、その日が来るまでみんな一つになろう

『友訪の世界へ』 伊藤 敬一

ベッドから起き上がり 部屋の窓のカーテンを開けると
眩しい朝日の光が差し込んで来る うーん さすがに眩しい しかし 晴天だ
今日は火曜日か・・・・・・・・よし 友訪へ行こう
今週も 土曜日まで友訪がある
友訪とは 心身に何らかの特別な事情のある人のルームで
素晴らしいスタッフ ルームメイト
そして 作業室の窓からの すばらしい風景に会え
一人一人が尊重と 間違いのない理解をされて認められ
苦手な作業を 無理なく克服して行け 自信と希望が持てるのである
それは この自分のような者にもである 信じられず ありがたき事である
支度をし 自宅玄関のドアを開き 外に飛び出し 友訪へと向かう
さすがに眩しいけれど おいしい空気 やさしく漂う良い香り
聞き心地の良い鳥のさえずりに 我が身が包まれる
晴天日の朝は 本当に清々しい
子供達の 元気なはしゃぎ声が響いて来た 友訪の向かいにある 小学校からの響きだ
そうなる と 友訪はもうすぐだ
友訪の玄関前に来た いつものように ドアが開いている
一歩進んで玄関に入ろうとする
そう ここまで来たならば 後はいつものように 一歩進んで 友訪の世界へと入るだけ
ステップをするかのような フットワークで一歩進む
もうここは 友訪の世界・・・・・・・・

《編集後記》

4月から朝のストレッチが始まりました。みなさん積極的に参加されています。
内職作業が多い友訪だけど、肩こりから解放されることを願ってます。